

聖風会マガジン

# 聖風会 マガジン vol.17

vol.  
**17**  
2025



特集

レジェンド職員に聞く聖風会  
～歴史をつむぎ、想いをつなぐ～



創立70周年を迎えて、未来への決意



2025年1月7日、聖風会は創立70周年という大きな節目を迎えました。創設者の「最高に価値あるものをすべての人に」という理念のもと、地域の皆様、ご利用者、ご家族、そして全職員のご支援により、今日まで歩みを進めてまいりました。これまでの歴史の中で、社会や福祉制度の変化に柔軟に対応しながら、地域に根ざした福祉サービスを提供し続けてきたことは、私たちの誇りです。

現在、少子高齢化、人材不足や収支の不安定化など、社会福祉法人を取り巻く環境は厳しさを増しています。各施設の大規模改修やDX化を積極的に推進し、業務の効率化・軽減を図ることで、職員がより働きやすく、ご利用者にとっても安心できる環境づくりに取り組んでいます。先行しグリーンハイム荒川、ゆうあいの郷 扇、ゆうあいの郷 六月での大規模改修やICTインフラ整備を進めています。

2024(令和6)年度決算では、厳しい経営環境の中でも収支改善に努め、当期活動増減差額は前年度より増加しました。今後も物価高騰や社会構造の変化に柔軟に対応し、職員一丸となって経営の安定化に取り組みます。

100周年に向けて、地域に信頼され、次世代に誇れる聖風会を築くため、変革と挑戦を続けてまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人聖風会

理事長 近藤常博

# レジェンド職員に聞く 聖風会

## —歴史をつむぎ、— 想いをつなぐ

創立70周年を迎えた聖風会。今回は、その歩みの礎を築いてきた「レジェンド職員」の3名にお集まりいただき、時代の変化とともに歩んできた現場の記憶、支え続けた想い、そして次世代へのメッセージを語っていただきました。

徳森敬子

とくもり  
けいこ  
聖風会歴 37年

柴田美代

しばた  
みよ  
聖風会歴 48年

田村麻美

たむら  
あさみ  
聖風会歴 29年



## 大きな変革期の中、聖風会の職員として

——今年創立 70 周年を迎えた聖風会では、広報誌の特別企画として聖風会を支えてきたレジェンド職員にご登場いただき 70 周年の歩みについてお話を聞きしたいと思います。今の聖風会があるのは皆さんが立ち止まることなく、大変な中頑張ってこられた証だと思います。長年の経験や思い出、これから聖風会を担う職員の皆さんに向けたメッセージなどをお聞きし、伝承・発展に努めていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

柴田 長く勤めてきた中でいろいろなことを経験させてもらいましたが、その中でもパソコン導入によるデジタル化は大きな変革期でした。デジタル化がなければ、介護はうまくいっ

てなかったと思います。書類はすべて手書き、連絡もすべて口頭でした。「言った言わない」とうまく伝わらないことも多々あり、ショートステイの送迎、入浴や会議室の予約もすべてアナログで管理していたので、何かも手間がかかり、トラブルやミスも多発していました。

パソコン導入は他の法人に比べても早かったと思います。今の業務効率化の土台はここにあると思います。

たものを布おむつとして使っていた時代だったので、すごい先進的なと思ったことを覚えています。

職員旅行やご利用者と一緒にマイクロバスで旅行したこともありました。車酔いする方や夜なかなか寝つけない方がいたりしてね。今のように大所帯になると難しいですが、そのような行事もありました。

徳森 昔は、清掃業者に委託していなかったので、ご利用者ご家族にお願いして、半年に1回、床のボリッシャーかけなど大掃除を手伝ってもらっていました。昔の介護の現場には男性が少なかったのでご利用者ご家族にはいろいろ助けてもらいました。

田村 古き良き時代ではないですが、ご家族を巻き込んで皆で施設を盛り立てていくっていうかね。時代とともに、介護制度や仕組みも変わっていく中で、ご利用者の状況も変わったと思います。

田村 聖風会は紙おむつの導入も早かったです。当時は浴衣を崩し

てお風呂に入らなければならなかった



「入浴予約」システムトップページ

2005年6月期		1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)
勤務	勤務月数: 12名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)																												
勤務	月数: 1名	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)	(男) 安田(名) 安田(姓)	(女) 安田(名) 安田(姓)	(男) 安																							

## これまで聖風会の職員として頑張ってこられた理由 わけ

田村 どうしてそんなに頑張れたかというと、きっと使命感みたいなものがあったのだと思います。私は専門の学校に行っていませんでしたが、早く働いていた分、少し技術を持っていました。その中で一生懸命勉強して介護福祉士の資格を取ったので、やっぱり貫き通したいという決意がありました。お医者さんだって、医者になったから素敵な治療ができるわけではなく、常に勉強し続けるから



田村麻美 職員

立派な医者になれるのだと思います。介護福祉士もきっと同じで、勉強も含めて介護の仕事が好きだったからだと思います。

徳森 私は生活のためかな（笑）。介護の仕事しかしたことがないから、他の仕事はできないと思っていました。他のところでイチから苦労するなら、今のご利用者、今の職員の中で頑張っていきたいと思いました。どうせ生活のために仕事をするのなら、働きたいところで働きたいなと。

柴田 私も資格は働いてから取つたので苦労した部分もありましたが、介護の仕事をするようになって自分の素を出して働くことができました。それはすごく大きな部分で世界が広がるようでした。ありのままの自分で

接することでご利用者も受け入れてくれて、取り繕わなくても楽しい会話ができるのが嬉しかったです。

徳森 ご利用者にはいろいろなことを教えてもらいましたね。お料理のことから、着物の畳み方、帯の締め方まで。「盆踊りで司会をやるんですよ」と言ったら、担当のご利用者が「浴衣着せてあげるからいらっしゃい」と着せてくれたこともあります。そのおかげで、今でも着付けすることができますよ。

田村 家族や周囲の人たちが仕事をすることを理解してくれて、支えてくれたことも長く働くことができた秘訣だと思います。子どもたちも母親の働く姿を誇らしく思ってくれていました。



徳森敬子 職員

ないと行き詰まって嫌になってしまいます。ですが、現場には必ず同じ考え方の人、賛同してくれる人がいます。その人たちを見つけて自分が良いと思ったことを実行するエネルギーを持つてほしいです。そして、それぞれのストレス解消法を作つておいてください。なんでも良いので仕事以外で何か発散できるものがあればいいですね。私はどうしても辞めたいと思ったら、少し休んでも、転職しても構わないと思っています。違うところを見ないと見えないこともありますからね。そして、また戻ってきてその経験を活かしてもらえばと思います。あまり目標を高くし過ぎず、課題を自分にかけ過ぎないで、近くに目線を落として今でいることを少しづつ構わないのです。

——原点を知ることは、これから的是風会を担う職員の皆さんにとっても大きな財産となります。レジェンド職員の皆さんのが築き上げてきた歴史と想いを次の世代に伝え、70年の先も続く聖風会でありたいと思います。貴重なご意見をいただきありがとうございます。

## これからの聖風会を担う職員の皆さんへのメッセージ

田村 私が入職した時とは時代背景や個々の価値観も大きく様変わりしていると思います。SNSで人と繋がることも当たり前かもしれません、リアルの人と人との繋がりを大切にしてほしいです。ご利用者、上司や先輩、仲間、後輩と、いろんな縁が結びついていくのが介護の仕事の面白さです。人生経験が豊富で様々な人生を送られてきたご利用者の時代背景や価値観を知り、その人の最期を共にできること、ほんの一部ですがその人生

に自分が関わっているということはすごいことだと思います。理想と現実のギャップに悩むこともあるかと思いますが、そんな時はなぜ介護の仕事を選んだのかと自分自身を振り返ってみてください。甘えはダメだけど、自身を大切に、仲間を大切にして聖風会を盛り上げていってほしいです。

徳森 今は転職サイトで気軽に仕事を変えることができるようになります。ですが、長く勤めることによって

得られたものがたくさんあると思っています。ご利用者から学べたこともたくさんあるし、人が亡くなる瞬間に立ち会うたびに、ご利用者がどんな人生を歩み、どのような最期を求めているのかを考え、心から支援したいと思うようになりました。それは自分自身に置き換えることで、自分がどう生きたいか、どう死にたいかということを点から線で見るようになり、面で捉えることができます。せっかく人の人生に関わることができる仕事を選んだ



レジェンド職員たちと取材後にパシャリ！

A.

- ①相手の立場で見る・聞く・考える
- ②相手の笑顔・自分の笑顔
- ③その人がその人らしく生きること

上記の3つは法人の運営理念です。朝礼で唱和するうちに覚え、いつの間にか働いている時に何度も頭に浮かぶようになりました。法人職員として、理念を大切にして今後も働いていきたいと思っています。

この言葉のおかげで、ご利用者がどんなに思いがけない言動をなさっても、「あ！コレが“その人らしく”なんだ～」と、笑顔で受け止めることができるようになりました。

Q.

聖風会の職員として  
働く上で  
大切にしてきたこと  
を教えてください

## 永年勤続職員 アンケート の言葉

聖風会の創立70周年を記念して、各部門の永年勤続職員の皆さん30名にアンケートを回答いただきました！誌面の関係上、すべての回答を掲載できなくて大変心苦しいですが、今回はその一部をご紹介します！

### ①大切な人間関係

様々な考え方を持つ人たちと  
関わる中で、多くのことを  
学び、長年の勤務を通して  
とても貴重な人生経験をさ  
せていただきました。

### ②親切な気持ち

ご利用者・職員に対しては  
素直な気持ちで接し気持ち  
良く毎日が過ごせるように心  
がけ日々努力するようにして  
います。



A.

### 1つ目は、「ありがとう」の言葉です。

私は学校を卒業して就いた仕事が営業でした。そこでは、たくさんのお金を稼ぎましたが、お客様から喜ばれる経験をすることがありませんでした。老人ホームでは、人生の大先輩がたくさんの苦労を経て施設に来られています。少しでも喜んでいただけるよう、最高のケアを目指し日々奮闘していると、ご利用者から『ありがとう』の言葉とともに満面の笑顔のプレゼントをいただくことがあります。私はその言葉をモチベーションとして日々働いています。



### 2つ目は、身口意「しんくい」の三業「さんごう」です。

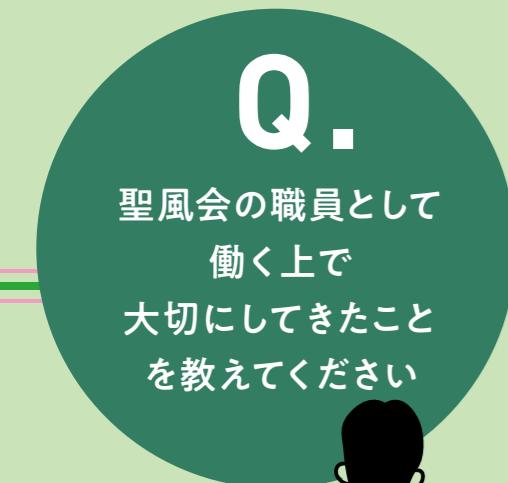
これは仏教の教えですが、身（行動）・口（言葉）・意（思っていること）の3つです。

普段のケアにおいて、良いことも悪いこともすべて自身に返ってくると言い聞かせ、気持ちを奮い立たせています。

### 3つ目は、感謝と敬意です。

私は小説家の吉川英治さんの【我以外皆我師也（われいがいみなわがしなり）】の言葉が好きです。

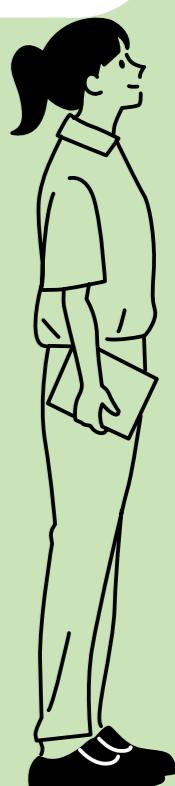
職員、ご利用者、ご家族、そして海外から来たグローバル職員の方々は、それぞれ異なる環境・言葉・文化の違いを乗り越えて日々を過ごしています。関わるすべての人に、感謝と尊敬の気持ちを忘れずにいたいと思います。



A.

### ③目くばり・気くばり・心くばり

すべての人にこの気持ちをもって接して  
いますが、実行にあたってはなかなか思  
うようにいかないこともあります。周囲  
を気にしながら常に意識を持ち続け対応  
していきたいと思います。



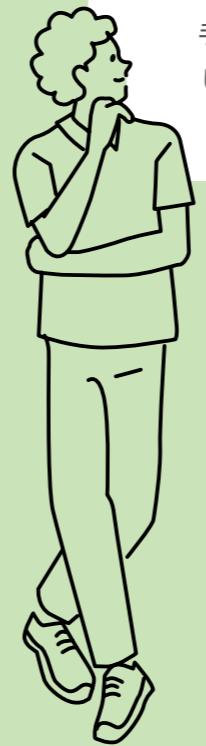
Q. 聖風会の職員として働く上で大切にしてきたことを教えてください

A.

個人個人の生活していく上で基本的な生活パターンやその方の嗜好等を考慮して援助を行うようにしていること。

人によってその嗜好は様々です。暑がりや寒がりなど、入浴時の湯の温度の好みもその方によって違っており、熱いお湯が好きな方には湯温が高いうちに入っていただくようにしたり、夏場でも寒がりの方には下着も工夫したりしています。できる限りその方の好みを把握して援助することで、少しでも気持ちよく過ごしていただけるのではないかと考えています。また食べ物の好みも変化することがあるので、食事の際に残されているものはないか、食べにくくしている物はないかをよく見ています。そのような情報をチームの皆と共有することによってより統一された援助を行うことができるので、**情報の共有**という点にも気をつけてきました。

また、ご自分で要望を伝えるのが難しい方には、**自分だったらどう思うか、何をしてもらえば不快な思いをせずに過ごせるのか**という点についても大切にしてきました。



A.

自分が大切にしてきたものの1つ目は「時間」です。

自分にも相手にも時間というものがあってそれは二度と取り戻せないものです。誰かと約束をしてそれを忘れてしまったら相手の時間を無駄にしたということです。とは言っても実際忘れてしまうことがあります、相手のことをきちんと思って行動したいといつも思っています。

2つ目は、自分の考え方だけを押し付けないようになっていること。

人それぞれ考え方を感じ方も違うので、自分の意見はさておき相手の意見や思いをまず聞くようにしています。自分の凝り固まった視点で話をした時に相手を不快にさせてしまったことがあります。行動もまったく違う、1つの枠にはめないようになっています。

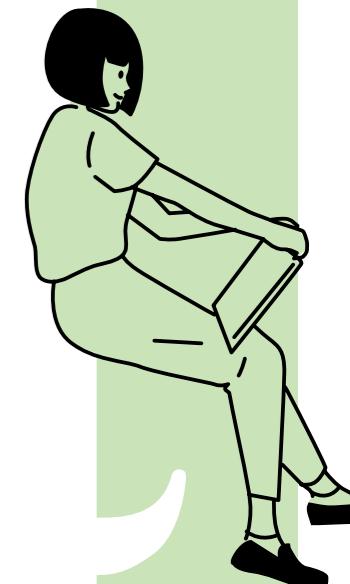
3つ目は、人に興味をもつこと。

職員でもご利用者でも自分と違う環境で生活し、何に興味があって何に対して楽しいと思うのかなど。人それぞれ個々に違う人間なので考え方も行動もまったく違う、1つの枠にはめないようになっています。

A.

1つ目はご利用者の尊厳です。

人として大切にされていることを感じながら生活できるように、安心で安全な環境を整えること、その人らしく生きられるような自立支援を行ってきました。



A.

3. 笑顔かな

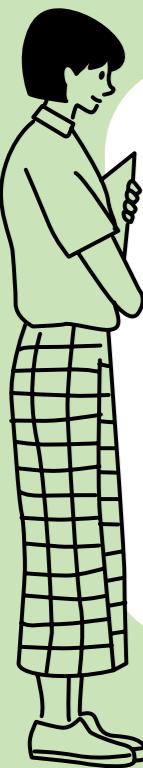
聖風会のいち介護従事者としてだけではなく、私生活でも（育児、お姑さんとの同居などなど）すべてにおいて、眉をしかめていても何も解決はすることなく、笑顔でいれば状況が良くなることが多いと感じます。私生活が円満であれば仕事も楽しく、その逆も然りです。

2つ目は地域に施設の存在を知ってもらうことです。

地域住民に施設を知ってもらえるよう、施設祭、喫茶、ボランティア、見学者、実習生の受け入れなど、他職種と連携して行ってきました。

3つ目は職員が楽しく働ける職場環境づくりです。

困った時に誰もが安心して「助けて！」と言える、良好な人間関係で仕事ができるように意識して勤めました。



1. 会長が仰ってきた聖風会の成り立ち

開設記念日に会長が話される苦労話にとても感銘を受けました。聖風会の名に恥じないようにしたいと強く思いました。時には区役所に直接ご相談に行かれた会長ですが、時節の折々に施設を回られて、直接職員に労いの言葉を掛けられる会長がとってもかっこいいと思っていました。

2. 時代の流れに取り残されないようにした

措置制度の中で仕事に従事していましたが、介護保険制度が始まり、競争・利益・サービスという概念が誕生しました。聖風会のこの施設をつぶすわけにはいかないと息巻いて介護保険制度が改定されるたび一生懸命勉強しました。



# 腹いっぱい！ 腹ペコはらハシ

本連載は食べるの大好き腹ペコの花畠部門・原橋大空職員が各施設のメニューを食べ、食のこだわりを皆さんにお伝えするコーナーです。  
今回は近藤常博理事長をゲストにお迎えして、“食”に込める想いをお聞きしました！

## 歳時記による食事の重要性

原橋 本日はご当地メニューということで新潟県の冷や汁をご用意いただきました。食欲が落ちる暑い夏にもサラッと食べられる夏を乗り切るためのアイデアですね。

理事長 夏を乗り切ると言えば冬瓜。ご利用者の食事メニューの中にも夏バテ防止に冬瓜が出ますよね。聖風会にとって大切なことの1つに「食」があります。日本には歳時記という書物があり、四季折々の事物や行事、風習などについて書かれています。この歳時記を日々の生活に取り入れることで、「食」を通して四季を感じ、豊かな暮らしを送ることができます。

## 今回いただく食事： ご当地メニュー《新潟県》



施設では1年中エアコンで温度が設定されているので、ご利用者からすると季節を感じることが難しいです。季節感がないと、露地もの（温室やビニールハウスではなく、露天

の畑で栽培された野菜）は何かと聞いても分からぬし、食事の中で提供されなければおさら分かりません。ですから、食事は歳時記を通して、季節に合ったものを取り入れていくことが肝心です。今は夏ですから、トマト、ナス、キュウリとかですかね（取材当時：9月）。

## 厨房の調理員さんと栄養士さんの連携で美味しい食事を提供

原橋 近藤理事長は今でも足立生苑で食事を召し上がっているそうですね。

理事長 食べていますよ。施設で提供する食事を食べることで、ご利用者が食べているものを把握できますからね。美味しい食事は栄養士さんや厨房の調理員さんの連携があってこそ、毎日安定した食事を提供できると思っています。私も食べることで、もう少し歯ごたえがあつたらいいとか、こんなのか食べてみたいなんて話しながら、栄養士さんや調理員さんとコミュニケーションをとるようにしています。どうしても冷凍食材を使うこともありますが、食感を残したり、味の奥深さを工夫してくれています。

## 今後の聖風会の食に関して

原橋 最後に今後の聖風会の食についてお願いします。

理事長 時代がどう変わろうとも歳時記を大切にしていきたいです。もう日本の四季も夏と冬の二季になるのでは、なんて言われていますけれども、その季節に合った露地ものを取り入れて味わうことにこだわっていきたいです。それと並行して「五感」を使った食事を心がけることで生活に刺激を与えていきたいと思います。

原橋 本日の食事メニューにあるトウモロコシご飯も夏の食材です。季節に合った食材ですね。

理事長 そうです。そして職員も上げ膳据え膳で食事を提供するだけではありません。ご利用者のそばに寄り添って、「今日はトウモロコシご飯で、夏の野菜ですね。夏祭りでは焼きとうもろこしをよく見かけますが、焼くのと茹でるのではどっちが好きですか？」など、食事を通して会話を広げていってほしいです。

原橋 郷土料理である冷や汁も会話のきっかけになりそうですね。



予定表を見て、食事が楽しみになりますよね。生活を楽しむ要素になります。それは何もご利用者に限ったことではなく、職員の中でも○○料理ってどんなのがあったっけ？あの人○○出身じゃない、聞いてみようか」なんて会話のきっかけになりますよね。

食事は生命維持だけではなく、心や記憶、文化をも育むものだと思います。ご利用者の皆さんにも職員の皆さんにも食事をもっと楽しんでもらいたいです。



## 今回の一枚

千住桜花苑にお邪魔して新潟のご当地メニューを堪能！

冷や汁はキュウリやナス、ミョウガやシソが入っていてシャキッとさっぱり！ 夏のご馳走に大満足です！

今日も腹いっぱい！ごちそうさまでした！



のっけ（里芋の煮物）をパクリ！

WEBではさらに他の食事も紹介しています！

ぜひこちらも合わせてご覧ください！





# あべはみた

見一ちゃった、見一ちゃった！ご無沙汰しています、どうもあべです。  
今回は荒川区の特別養護老人ホーム・グリーンハイム荒川（以下、グリーンハイム）の  
お引っ越しに潜入しました。

グリーンハイムは、施設の大規模修繕により、  
2027年までは台東区内の施設をお借りして事業運営をしま  
す。特養のお引っ越しは聖風会70年の歴史で初めてとのこと  
で、それを聴いたら、わたし、居ても立ってもいられなくて、  
取材に来ちゃいました！



当日、慌ただしい中でも笑顔で撮影に応じてくれた  
広報委員の須田職員



どこに行くのか緊張されているご利用者の気持ちに寄り添い、優しく言葉をかける職員の皆さん、

## 秋晴れの引っ越し日和

引っ越しの当日は爽やかな秋晴れ。朝8時前にはグリーンハイムに到着しましたが、施設の中はどこか緊張感のある空気で、わたしも緊張度マックスとなったので、ストレッチでからだをほぐしました。

これから始まる「聖風会“初”特養のお引っ越し」！ だけど慌ただしさがご利用者に伝わらないよう、配慮しながら関わられている職員の皆さんのお姿を見て、「プロフェッショナルラー！」と心の中で思わず拍手をしちゃいました。



間一髪でセーフでしたが、荷物と一緒に運ばれそうになる、わたし(笑)



介護タクシーのスタッフの皆さん  
移動のプロフェッショナルの力を借りて、  
安全にご利用者にご移動いただきました

「オール聖風会」でご利用者の安心、安全に最善を尽くす

当日はご利用者の皆さんが順番に荒川区から台東区に介護タクシーで移動してきました。車内の同乗する介助者は法人の他部門より、施設長や課長の皆さんにご協力いただき、万全の体制で移動できました。

ご利用者がリラックスした雰囲気で移動できるよう、気持ちに寄り添いながら言葉掛けをし、ベストを尽くして、グリーンハイムの引っ越しに協力されていて「オール聖風会」っていう言葉がピッタリなグリーンハイムでの引っ越しでした。



わたしの担当は動画の撮影と取材！

## 新しい暮らしにも、丁寧に寄り添った支援を

介護タクシーに25分ほど乗り、到着した施設。「ここはどこかな?」と戸惑いを見せるご利用者もいらっしゃいましたが、暮らす場所は変わったとしても聖風会の法人理念は変わりません。新しい暮らしあり、職員の皆さんのが丁寧に、寄り添いながら生活のサポートをさせていただきますので、ご安心ください!



### 着々と進む、引っ越しの準備



新しい住まいについて、まずはホッとひと息  
ここでもたくさんの喜び溢れる暮らしを送りましょう

あべ note

それでも引っ越しって、人生における1つの分岐点みたいなもので、何かに区切りをつけたり、何かが始まったり、引っ越しの数だけ物語もあるんだろうなって考えちゃいました。あー、なんだかわたしも引っ越ししたくなってきたな…おっとここからはプライベートなので、オフレコで。

次は聖風会のあなたの元に、  
ごめんください。  
以上、現場からあべでした！



「最高に価値あるものすべての人に一地域に信頼される施設を目指して—」

「経営理念」

私たちが目標とすること

地域に貢献する総合福祉事業の展開  
卓越したケアサービスによる顧客満足  
効率・効率を考えた弛まぬ業務改善

「運営理念」

私たちが大切にしていること

相手の立場で見る・聞く・考える  
相手の笑顔・自分の笑顔  
その人がその人らしく生きること

## ■韓国での交流：認知症高齢者美術交流展参加

2025年9月10日～12日にかけて、韓国で開催された国際美術交流展にご招待いただきました。このイベントは、日本・ベトナム・韓国の認知症高齢者による美術作品を持ち寄り、国境や文化を越えて芸術的な連携を深めることを目的としています。聖風会は、特養やデイサービスのご利用者皆で作り上げた作品を出品しました。大きな作品は韓国に運べなかったため、プログラム内で紹介される形となりましたが、各国の作品の題材や色彩の違いに触れ、文化的多様性の面白さを改めて実感しました。



## ■編集後記 & ●私のレジェンドにまつわるエトセトラ

■実は、30人の永年勤続職員さんにもっと多くの質問に答えてもらっています。誌面には載せきれなくてとっても残念なんです。WEB版のクローバースマイルにはアップされる予定なのでぜひ読んでみてください！

●私は忍耐力・継続力ある人があこがれです。今回レジェンド職員のお話を聞いて、ほんとにすごいと思いました。私もこれから聖風会のレジェンド職員を目指します！  
(足立部門 久保田 ちひろ)

■今回は法人創立70周年記念号。法人・職員が大事にしてきた“もの”を次の時代を担う職員の皆様に受け取っていただき、更なる未来に向かって進んでいく。今回の表紙のバトンにはそんな意味が込められています。

●ザック・ワイルドというギタリストがあこがれの人です。貴公子のような顔立ちで長髪を振りながら野獣のようにギターを弾くPVを見た時に稻妻が走った私でしたが、如何せん指も手も足も短かく真似できなかったのを覚えています。  
(広報委員長 六月部門 小口 巧)

■広報委員として初めてのインタビュー体験でした。ずっと介護という世界で、更には聖風会の一員として働いてきたお三方の話は貴重以上のものではありませんでした。1人でも多くの方にこのインタビューが届けられれば幸いです。

●恥ずかしくて名前は伏せますが、彼らはずっと努力を怠らず、自分に厳しく、語学も堪能。多忙な仕事を続けながら学業も真剣に取り組んで、私が尊敬する全てを持っています。はい、ただの推し語りでした。  
(扇部門 小川 佳那子)

■聖風会“初”的グリーンハイム荒川・特養のお引っ越し！長年、慣れ親しんだ思い出いっぱいの場所から離れるのは感慨深いですね。ドキドキした様子のご利用者にそっと寄り添う介護職の皆さん。どんな時も介護のプロフェッショナルな姿に感動です。

●桜花苑で出会ったボランティアさん。いつも楽しそうな笑顔で作業をしてくださり、私もたくさんの元気をもらっています。私も皆さんのように心にゆとりある人生を歩みたいと思います。  
(千住部門 阿部 真奈美)

■創立70周年ということで連載2回目にして理事長にご出演いただき、聖風会の食に関してとても良いお話しを伺えました。冷や汁は初めていただいたのですが、とても美味かったので夏の暑い時期に作りたいと思います。

●俳優・スーツアクターの高岩成二さんです。幼少期から仮面ライダーが好きでよく見ていましたが、変身後も同一人物かのような細かい仕草やキャラの演じ分けなど、平成ほぼ全ての主役を務められた正にレジェンドです。  
(花畠部門 原橋 大空)

■レジェンド職員お三方のお話はどれも興味深く、新鮮なお話ばかりでした。誌面の関係で載せきれないお話もありましたが、これから聖風会を担う職員の皆さんに向けたメッセージをいただき、聖風会の職員として必読です！

●アンパンマンです。困っている人がいたらすぐに駆けつけ、自分の顔まで分けてあげるなんて、本当に優しいなと思います。仕事でも日常でも、周りの人が少しでも笑顔になれるような関りをしていきたいと思います。  
(荒川部門 須田 葉月)

## 社会福祉法人 聖風会法人広報誌『クローバースマイル』vol.17

2026年2月1日 発行／発行人 近藤常博

法人本部 〒121-0061 東京都足立区花畠四丁目39番10号 ／ 電話03-3883-7955(代表)

企画編集 社会福祉 法人聖風会 広報委員会

編集協力 株式会社エイデル研究所 ／ デザイン 有限会社ソースボックス

※写真は許可を得て掲載しています。



聖風会の“いま”を  
伝えるWEBメディア